


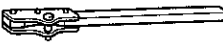
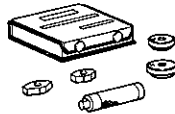


5 プロペラ シャフト

プロペラ シャフト	ページ 5-2
-----------------	------------

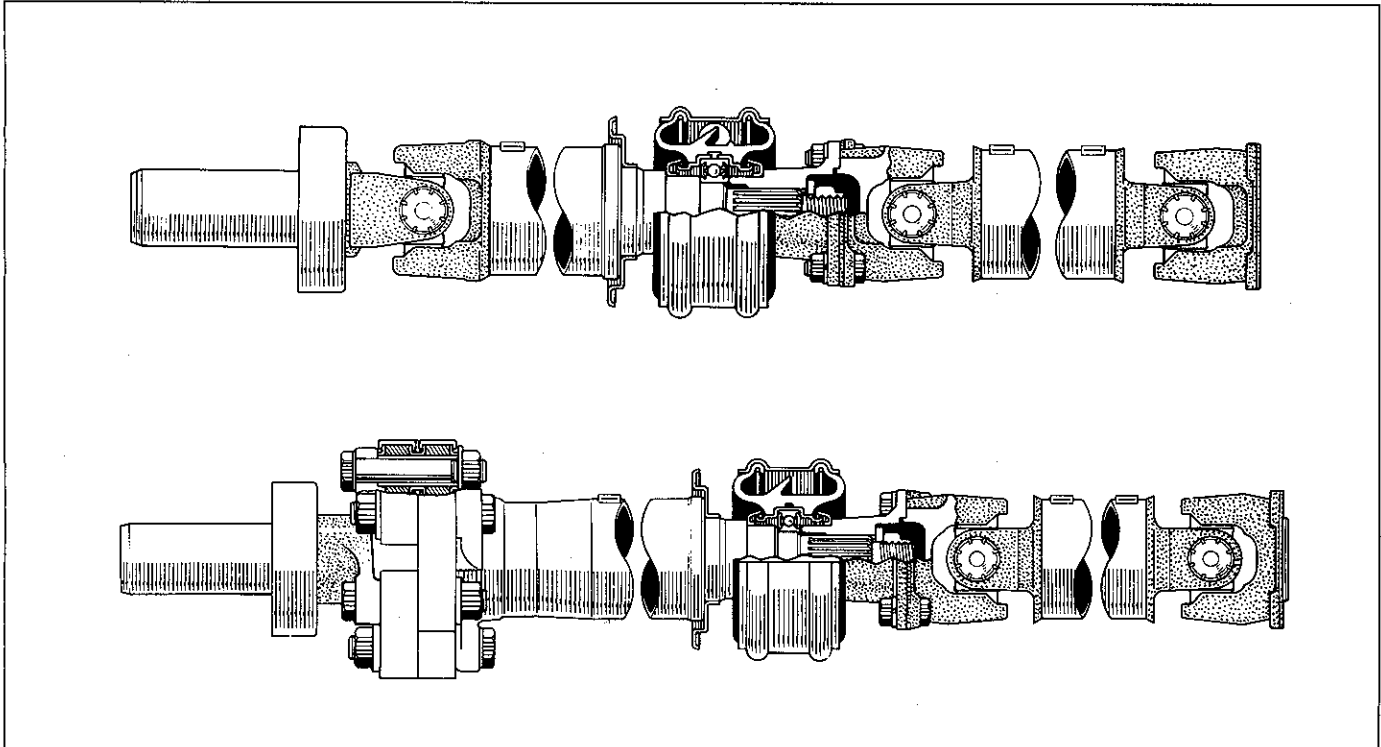


プロペラ シャフト

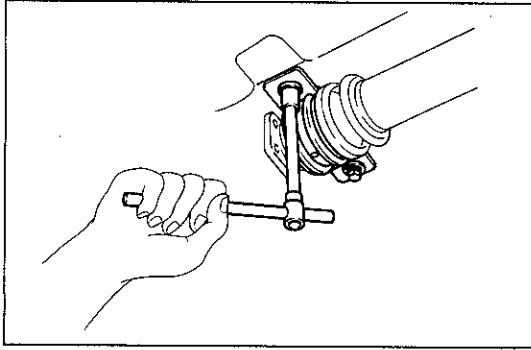
準備品

SST		09325-20010 プラグ, トランスミッション オイル	トランスミッション後部のオイル プラグ用
		09330-00020 ツール, コンパニオン フランジ ホールディング	フランジ ヨーク固定用
		09608-30021 リプレーサ セット, フロント ハブ ベアリング	
		09608-05010 ハンドル	センタリング シール取り付け用
		09608-05040 リプレーサ	センタリング シール取り付け用
工 具	V ブロック		スリーブ ヨーク シャフト振れ点検用 インタミードイト シャフト振れ点検用
	スナツプ リング コンプレツサ		スナツプ リング脱着用
計 器	ダイヤル ゲージ		インタミードイト シャフト振れ点検用

断面図

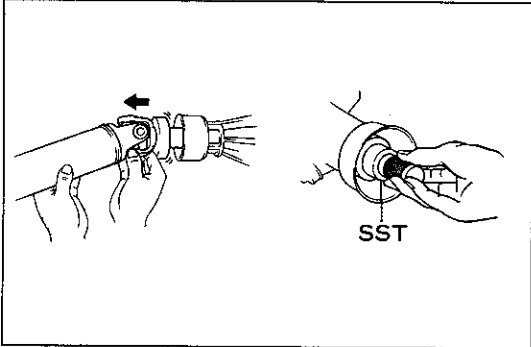


D0492 D0493



D0497

5 センタ サポート ベアリング ブラケット取りはずし



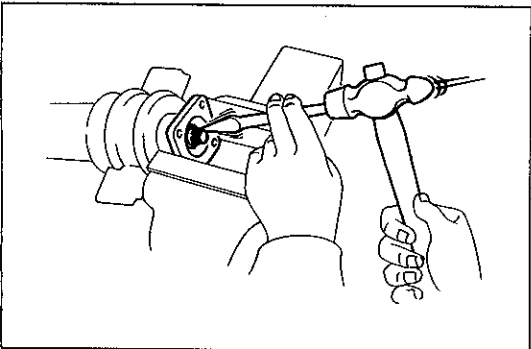
B2293 B2270

6 インタミードイト シャフト取りはずし

- (1) トランスミッションよりヨークの部分を引き抜き、SSTをすばやくそう入する。

SST 09325-20010

注意 フレキシブル カップリング付きのものはカップリング部分に無理な力を加えて変形させない。

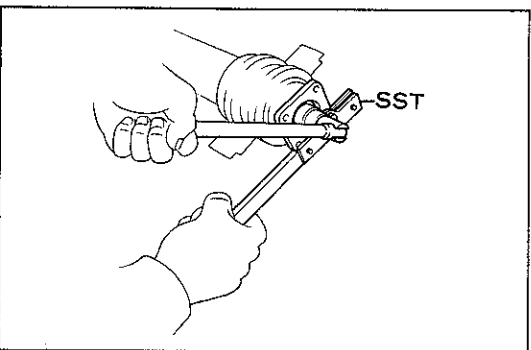


B2272

プロペラ シャフト分解

1 センタ サポート ベアリング取りはずし

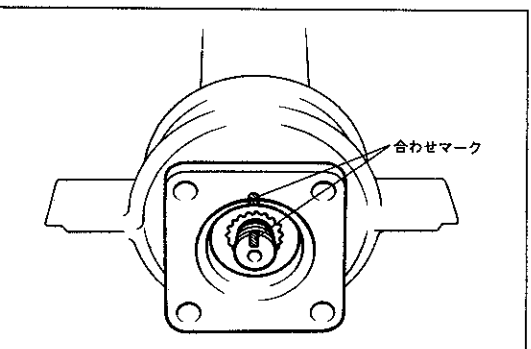
- (1) ハンマとタガネを使用してナットのかしめを解く。



B2273

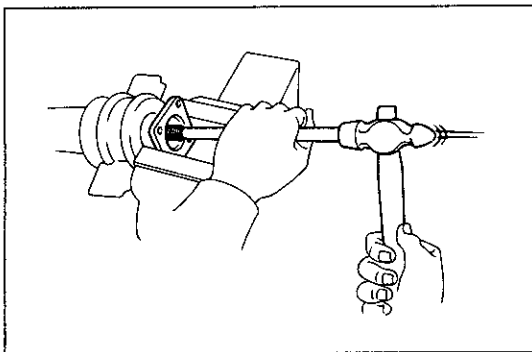
- (2) SSTを使用してフランジを保持し、ナットを取りはずす。

SST 09330-00020



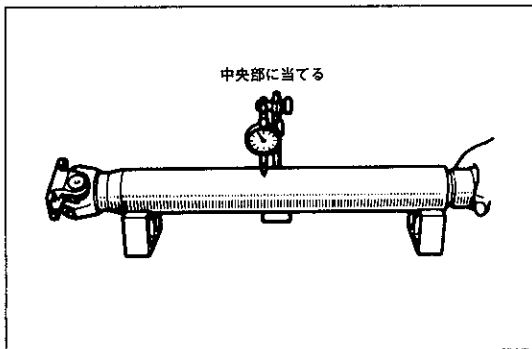
B2274

- (3) シャフトとフランジに合わせマークを付ける。



B2275

(4) フランジをバイスに固定し、シャフトを軽くたたいて取り出す。



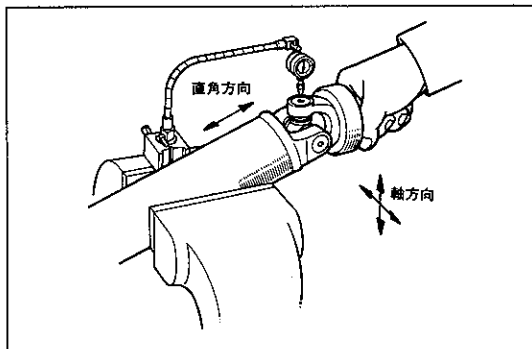
B2276

プロペラ シャフト点検

1 プロペラ シャフトとインタミードイト シャフトの損傷、振れ点検

振れ限度 0.8mm

限度を超える場合はプロペラ シャフトを交換する。



Z7815

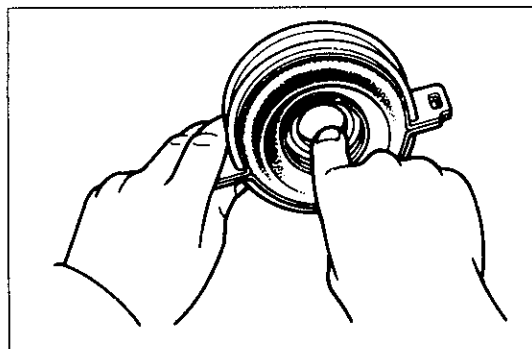
2 スパイダ ベアリング点検

(1) スパイダを回転させ、引つ掛かりのないことを確認する。

(2) 両手で強くスパイダを軸方向、直角方向にゆすり、ジョイント部のガタを点検する。

限度 0.05mm以下

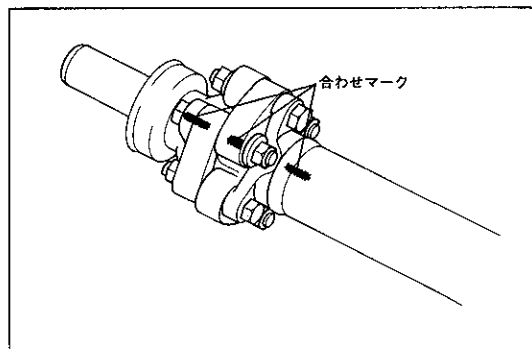
限度を超える場合はプロペラ シャフトを交換する。



B2278

3 センタ サポート ベアリングのガタおよび引つ掛かり点検

(1) 中心から外周方向に力を加えながら回転させる。



B6961

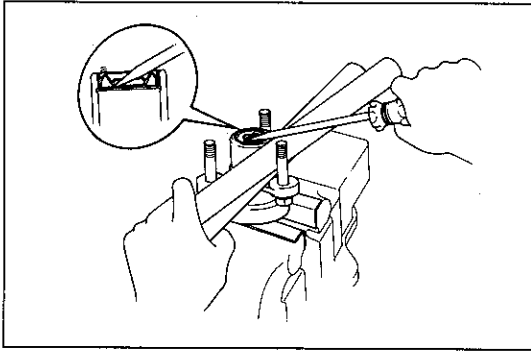
フレキシブル カップリング脱着

1 スリーブ ヨーク、フレキシブル カップリング、インタミードイト シャフト切り離し

(1) スリーブ ヨーク、フレキシブル カップリング、インタミードイト シャフトに合わせマークを付ける。

(2) 6本のボルトとナットを取りはずす。

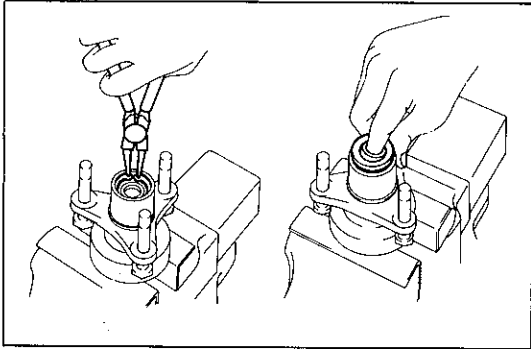
注意 フレキシブル カップリングを変形、損傷させない。



A4398

2 センタリング シール取りはずし

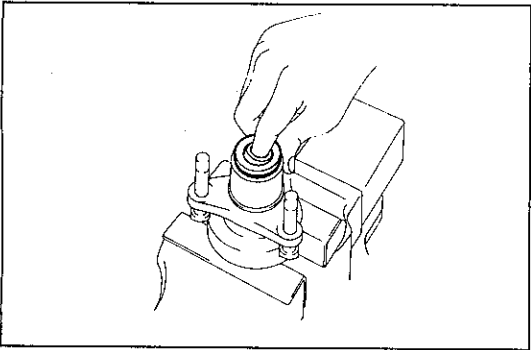
- (1) ドライバなどを使用してセンタリング シールを取りはずす。



B6962 B6963

3 スナップ リング取りはずし

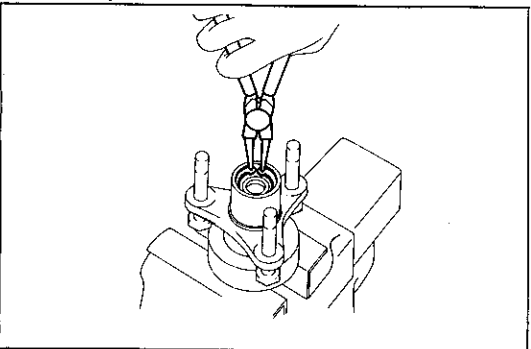
4 センタリング ボール, シート取りはずし



B6963

5 センタリング ボール, シート取り付け

- (1) キヤツスル シヤシ グリース スペシャルを塗布する。
 (2) センタリング ボールおよびシートを取り付ける。



B6962

6 スナップ リング取り付け

- (1) カップリング シートの軸方向の遊びが0.05mm以下になるようにスナップ リングを選択し取り付ける。

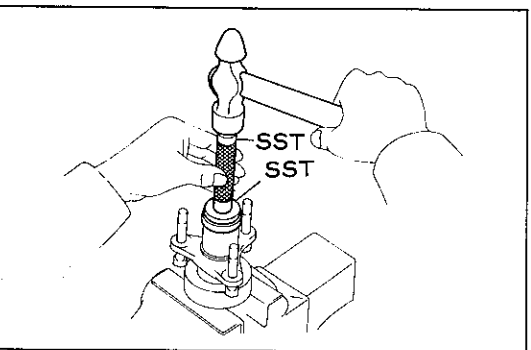
〈参考〉 スナップ リング種類

1.42mm, 1.45mm, 1.48mm, 1.51mm, 1.54mm

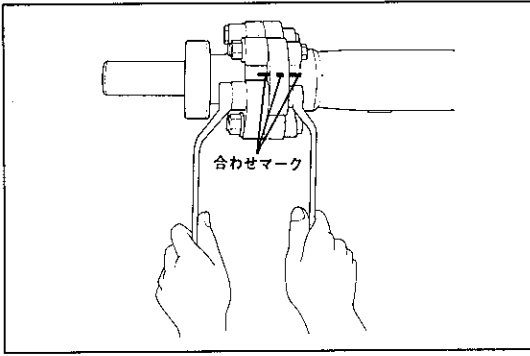
7 センタリング シール取り付け

- (1) シールのリップ部にキヤツスル シヤシ グリース スペシャルを塗布する。
 (2) SSTを使用して, 新品のセンタリング シールをスリーブヨーク端面と面一まで打ち込む。

SST 09608-05010 09608-05040



B6965



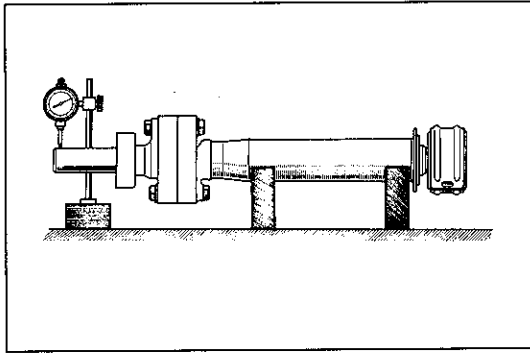
B6966

8 フレキシブル カップリング組み付け

(1) スリーブ ヨーク, フレキシブル カップリング, インタミューデイト シャフトの合わせマークを合わせる。

(2) 6本のボルトと新品ナットを均等に締め付ける。

T=970kg-cm



B6967

9 スリーブ ヨーク振れ点検

(1) スリーブ ヨーク先端部より10mmの位置にダイヤル ゲージを当てて振れを測定する。

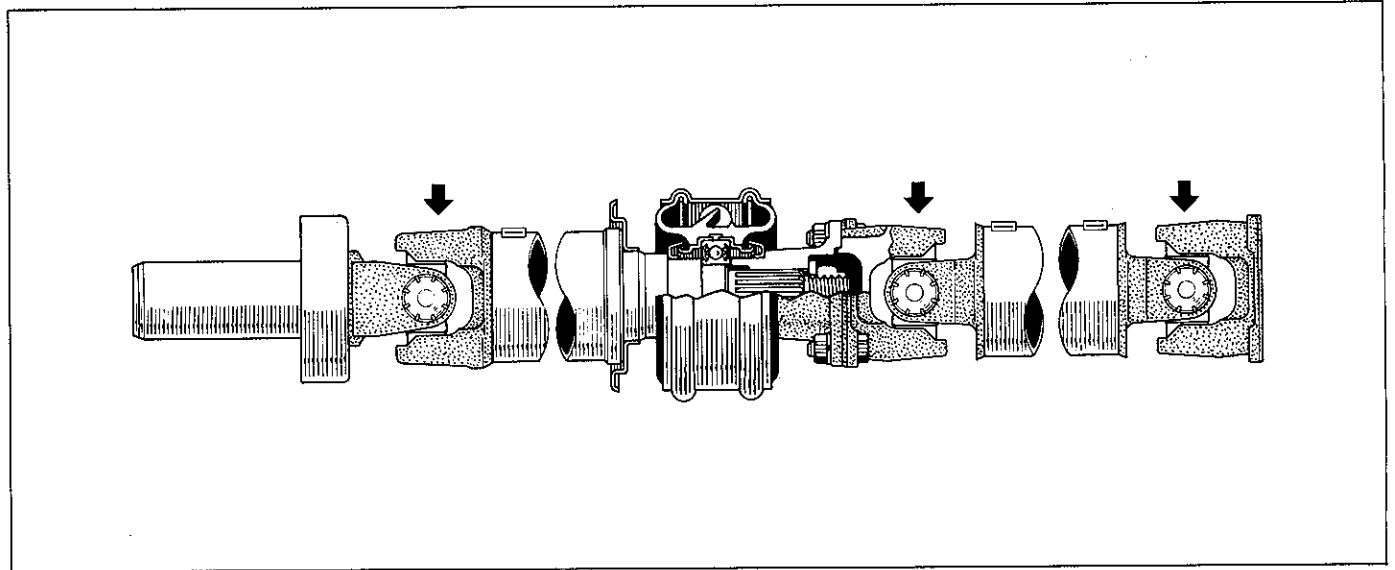
限度 1.1mm

限度を超える場合はフレキシブル カップリング取り付けボルト6本を完全にゆるめ, 再び均等に規定トルクで締め付けて測定する。

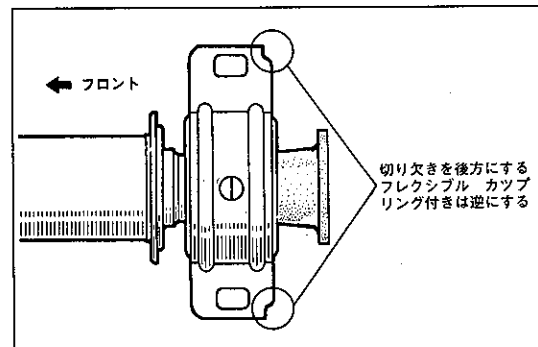
T=970kg-cm

プロペラ シャフト組み付け

注意 フランジをはずしたとき, フランジ ヨークを交換した場合は, 各ジョイントの向きが下図になるように組み付ける。



D0492



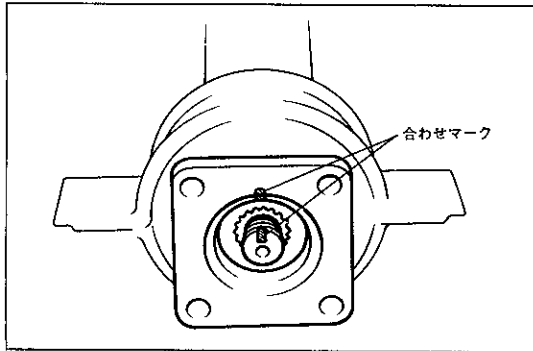
Z4827

1 センタ サポート ベアリング取り付け

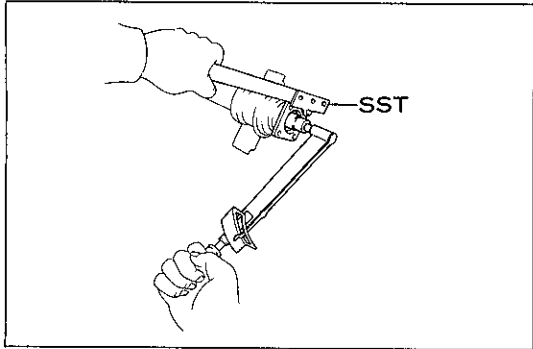
(1) インタミューデイト シャフトにセンタ サポート ベアリングを取り付ける。

注意 ・センタ ベアリング ブラケットの切り欠きを後方に向けて取り付ける。

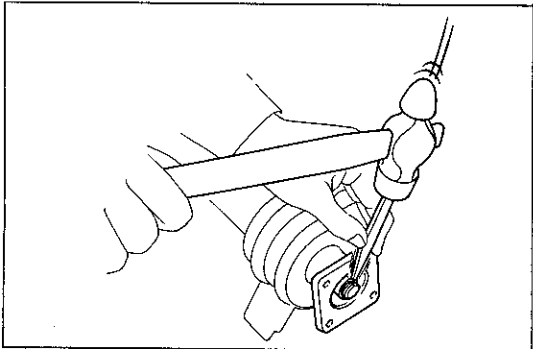
・フレキシブル カップリング付きは, 逆にフロント側に切り欠きを向けて取り付ける。



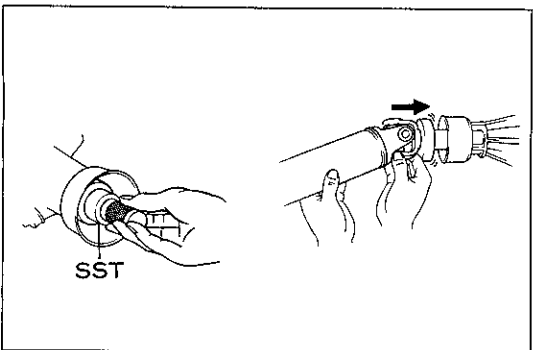
B2274



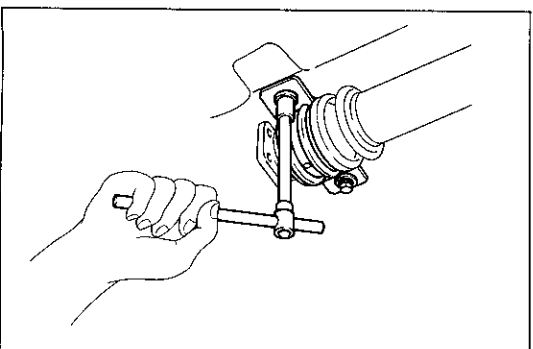
B2291



B2292



B2270 B2293



D0497

2 センタ フランジ取り付け

- (1) センタ フランジとインタミードイト シャフトの合わせマークを合わせて取り付ける。

- (2) SSTを使用してフランジを固定し、新品のナットを締め付けベアリングを圧入する。

S S T 09330-00020

T=1850kg-cm

注意 オーバートルクになるためネジ部に油脂が付着した状態で締め付けない。

- (3) ナットをゆるめる。
- (4) 再度ナットを規定トルクで締め付ける。
T=700kg-cm
- (5) ハンマとタガネを使用してナットをかしめる。

プロペラ シャフト取り付け

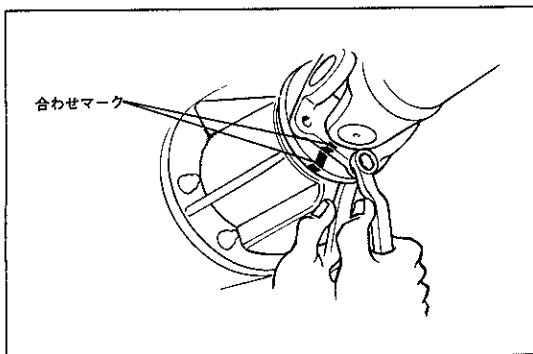
1 ヨーク取り付け

- (1) トランスミッションよりSSTをすばやく取りはずす。
S S T 09325-20010
- (2) トランスミッションにスリーブ ヨークをすばやくそう入する。
注意 オイル漏れが多い場合は、トランスミッション オイル量を点検する。

2 センタ サポート ベアリング ブラケット取り付け

- (1) ブラケットとフレーム間にワッシャを取り付ける。
- (2) ボルトを仮り締めする。

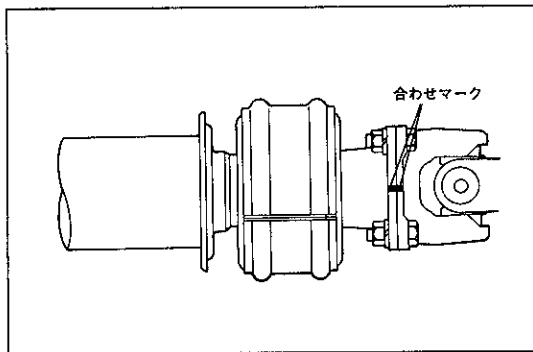
3 センタ フロア クロスメンバ ブレース取り付け



PR0001

4 プロペラ シャフト フランジ取り付け

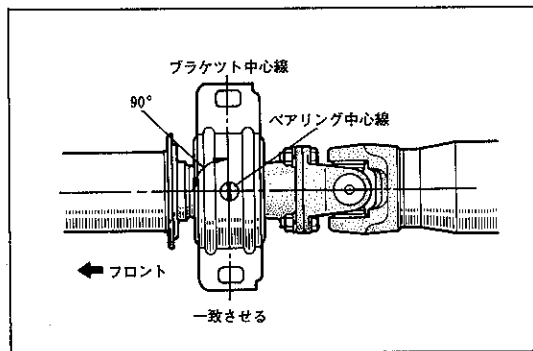
- (1) デイファレンシヤルのコンパニオン フランジとの合わせマークを合わせて取り付ける。
- (2) ボルトと新品ワッシヤ, ナットで取り付ける。
T=430kg-cm



D0496

5 プロペラ シャフトとインタミードイト シャフト接続

- (1) インタミードイト シャフトとプロペラ シャフトの合わせマークを合わせて取り付ける。
- (2) ボルトと新品ワッシヤ, ナットで取り付ける。
T=430kg-cm



Z4818

6 センタ サポート ベアリング ブラケット取り付け

- (1) 空車状態でベアリング ブラケット中心線に対してベアリング中心線が車両前後方向 0 ± 1 の範囲になるよう調整し, 締め付ける。
T=410kg-cm
- (2) 取り付け後, ブラケット中心線がインタミードイト シャフト軸に対して直角になっていることを確認する。

MEMO